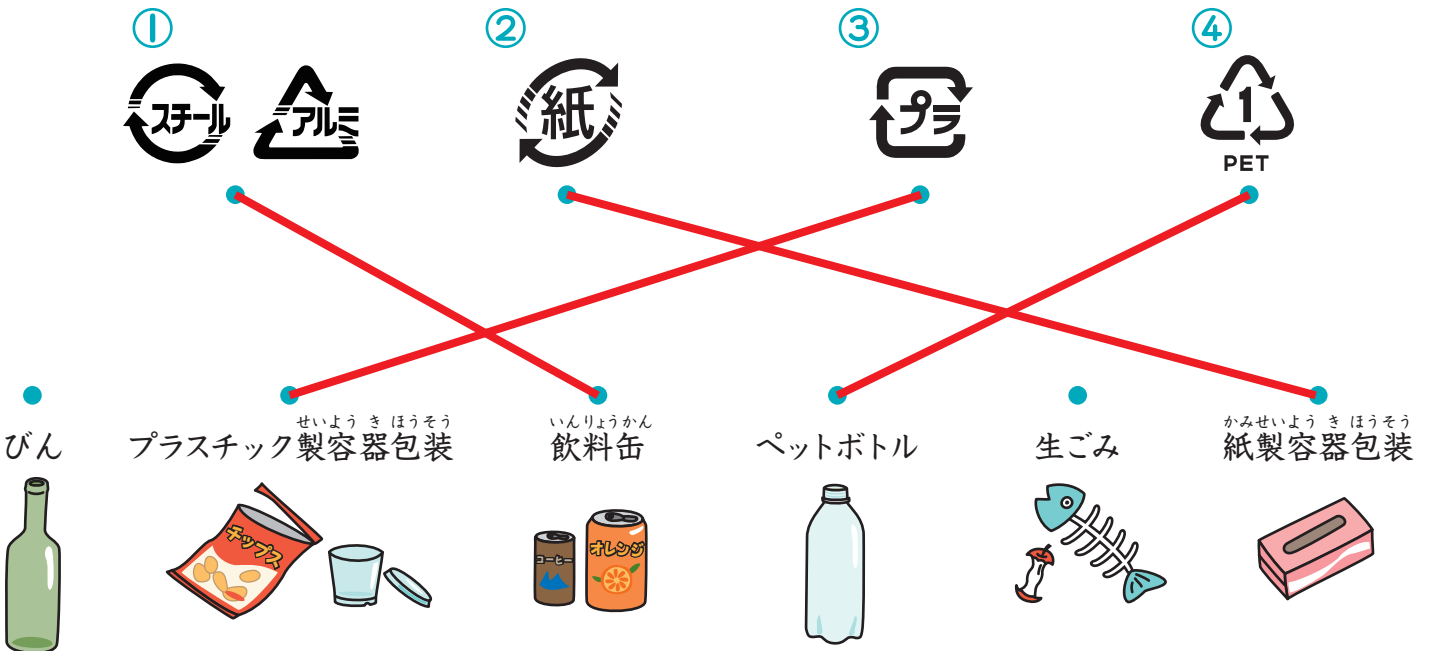


ごみのゆくえとリサイクル

1 次の①～⑦の文の()に当てはまる言葉を○でかこみましょう。各6点(54)

- ① ごみを種類ごとに分けて収集に出すことをごみの(**分別**・回収)といいます。
- ② 収集された燃やせるごみは、まず(再生工場・**清掃工場**)に運ばれて(**焼やされ**・細かく砕かれ),その後(**最終処分場**・資源化施設)で、うめ立てられます。
- ③ 容器包装プラスチックや、びん・缶・ペットボトルなどのように、リサイクルできるごみのことを(**資源ごみ**・素材ごみ)といいます。
- ④ ごみを減らす3つの活動のことをそれぞれの頭文字をとって(**3R**・3S)といいます。
- ⑤ ごみそのものを減らす活動を(**リデュース**・リユース・リサイクル)といいます。
- ⑥ ものをくり返し使う活動を(リデュース・**リユース**・リサイクル)といいます。
- ⑦ ごみを資源に変え再利用する活動を(リデュース・リユース・**リサイクル**)といいます。

2 次の①～④の素材を見分けるためのマークがどのようなものに使われるか、下から合うものを選んで線でつなぎましょう。各5点(20)



3 「ごみが増えると困ること」と「ごみを減らすために出来ること」を1つずつ書きましょう。各13点(26)

ごみが増えると困ること

(例) 最終処分場がいっぱいになって、ごみをうめ立てる場所が足りなくなってしまう。

ごみを減らすために出来ること

(例) 買い物にはマイバッグを持って行き、レジ袋はもらわないようにする。

